

動物実験に関する自己点検・評価報告書（案）

東洋大学

2025 年 6 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 東洋大学動物実験等の実施に関する規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 環境省「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」、文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」）に則し、「東洋大学動物実験等の実施に関する規程」（以下「規程」）を施行している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 東洋大学動物実験等の実施に関する規程、東洋大学動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に適合した 3 種のカテゴリーの委員で構成する動物実験委員会を設置している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 東洋大学動物実験等の実施に関する規程、動物実験計画書様式、動物実験計画変更承認申請書様式、動物実験計画変更届出書様式、動物実験終了（中止）報告書様式、飼養保管施設設置承認申請書様式、実験室設置承認申請書様式、施設等（飼養保管施設・実験室）廃止届様式、飼養保管数等報告書様式
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規程により、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 東洋大学動物実験等の実施に関する規程、東洋大学遺伝子組換え実験等安全管理規程、遺伝子組換え実験に使用する生物種に応じた拡散防止措置を定める指針
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 朝霞キャンパスにおいて遺伝子組換え動物実験を実施している。遺伝子組換え動物実験の実施にあたっては、「遺伝子組換え実験に使用する生物種に応じた拡散防止措置を定める指針」を定め、遺伝子組換え動物の拡散防止を図っている。また、遺伝子組換え動物実験は「東洋大学遺伝子組換え実験等安全管理規程」に基づく遺伝子組換え実験の実施承認を得たうえで、動物実験委員会の審議を経て学長が承認した計画を実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ■ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 東洋大学動物実験等の実施に関する規程、飼養保管施設設置承認申請書様式、実験室設置承認申請書様式、動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設・動物実験室の設置にあたっては、部局長の申請に基づき動物実験委員会による書類審査及び実地調査が行われ、その助言を受けて学長が設置の承認を行っている。 飼養保管施設では、実験動物管理者・動物実験責任者の下で飼養者が実験動物の管理を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 東洋大学動物実験等の実施に関する規程、動物実験委員会委員名簿、動物実験計画書、動物実験計画変更承認書、動物実験終了（中止）報告書、飼養保管施設設置承認申請書、実験室設置承認申請書、動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 規程に基づき、申請を審議・調査を行い、学長へ報告・助言を行っている。また、学長に報告された結果について基本指針・規程に適合するか確認を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 東洋大学動物実験等の実施に関する規程、動物実験計画書、動物実験計画変更承認書、動物実験終了（中止）報告書、動物実験委員会議事録、動物実験計画一覧表、動物実験の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 2024 年度は次の審査を実施し、規程に適合することを確認し、学長へ報告した。 ・ 2023 年度実施計画（変更申請・変更届出）6 件、 ・ 2023 年度実施分 49 件の実験終了（中止）報告、 ・ 2024 年度実施計画（変更申請・変更届出）55 件、 2024 年度実施計画 15 件、2025 年度実験計画 44 件
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 東洋大学動物実験等の実施に関する規程、東洋大学遺伝子組換え実験等安全管理規程、遺伝子組換え実験に使用する生物種に応じた拡散防止措置を定める指針 、動物実験計画一覧表、動物実験の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 朝霞キャンパスにおいて遺伝子組換え動物実験を実施している。遺伝子組換え動物実験の実施にあたっては、「遺伝子組換え実験に使用する生物種に応じた拡散防止措置を定める指針」を定め、遺伝子組換え動物の拡散防止を図っている。また、実験は「東洋大学遺伝子組換え実験等安全管理規程」に基づく遺伝子組換え実験の実施承認を得たうえで、動物実験委員会の審議を経て学長が承認した計画を実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験等の実施に関する規程、赤羽台キャンパスの動物実験等の実施に関する細則、朝霞キャンパスの動物実験等の実施に関する細目、実験動物飼養保管施設状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 各キャンパスにて定められた細則・細目・飼養保管マニュアルに基づき管理を実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験等の実施に関する規程、赤羽台キャンパス動物実験等の実施に関する細則、朝霞キャンパス動物実験等の実施に関する細則、実験動物飼養保管状況の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 各キャンパスにおいて定められた細則に基づき管理を実施している。 施設の設置時に規程が求める設置基準を満たしていることを全学動物実験委員会が実地調査を行い確認しており、2024 年度は朝霞キャンパスに新規設置する実験室 1 件及び飼養保管施設 1 件の審査を行った。また、川越キャンパス及び板倉キャンパスに設置されている実験室及び飼養保管施設の廃止手続きを行った。そのほか、実験動物飼養保管状況の自己点検票で適正に維持管理を行っていることを把握している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験教育訓練実施報告、動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 各キャンパスで実施した動物実験教育訓練の訓練内容・講師・受講者等は動物実験委員会に報告され、適正に訓練が実施されていることを確認した。また、実験動物管理者の研鑽に努めており、実験動物管理者は公私立大学実験動物施設協議会 教育・研修委員会及び日本実験動物学会が主催する研修会に参加した。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験等の実施に関する規程、自己点検・評価チェックリスト、2024 年度動物実験に関する自己点検・評価報告書、東洋大学 HP「動物実験について」 https://www.toyo.ac.jp/about/effort-activity/animal_experimentation/
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 全学動物実験委員会での点検項目と部局動物実験委員会での点検項目を定め、自己点検・評価を実施した。また、動物実験に関する情報は本学 HP にて公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

--